

一般質問



自由民主党議員団
徳永 春男 議員

地区公民館と校区 まちづくり協議会との連携

問 地域担当職員制度を廃止し、嘱託員を（仮称）地域支援担当職員に選任しては。

答 地域への責任や行政との

つなぎ役の面等から、地域担当職員での対応が必要と考えるが、公民館の多様化、役割、支援等の全体的な見直しの中、職員についても考え方の整理を含め、検討が必要と考える。

三池地区の公共交通 空白地域の解消に向けて

問 三池地区の公共交通空白地域の解消に向け、平成32年に対策の実施、30～31年にその検討とあるが具体的には。

答 ニーズの把握、交通手段の情報収集や分析、ケースス

タディーの実施を行い、導入に向けた交通事業者との協議・調整を行っていく予定。

農業振興ハンドブックの充実

問 農業振興ハンドブックの充実を図るため、改訂版を発行する予定は。

答 国の農業施策が変わっていく中、農家の課題やニーズに即応し、改訂を加えながら、より地域の実情に即し、新規就労者をふやすツールとしても活用できるようにしたい。



公明党議員団
三宅 智加子 議員

絵本を生かしたまちづくり

問 絵本ギャラリーには、市内に限らず市外からも多くのお客様、ファミリー層を呼ぶことができると思う。その整

備に関する関係者・団体へのヒアリングの状況と、それを踏まえた基本設計の方向性は。

答 ヒアリングでは、「動物園にある唯一の絵本ギャラリーとして整備してほしい」や「動物園を通らずに絵本ギャラリーに入れませんか検討してほしい」という意見がある。

絵本ギャラリーへの直接の入場については、基本設計に合わせて検討していきたい。

再発言 クラウドファンディングによる資金調達に臨む姿勢として情報発信、返礼品な

ど様々な工夫をして、数多くの方から建設に賛同していただくように取り組んでほしい。

ゆるキャラグランプリ 2018の取り組み

問 日本一を目指す本年の取り組みについて聞きたい。

答 8月1日の投票開始からスタートダッシュできるように、市、商工会議所、市議会の三者で、「ジャー坊応援実行委員会」を発足し、現在、その支持基盤固めに向けた取り組みを進めている。



公明党議員団
今村 智津子 議員

家庭での30・10 (さんまる・いちまる)運動

問 長野県松本市では、食品ロス削減の取り組みとして、毎月30日は冷蔵庫の中を点検、毎月10日は賞味期限・消費期

限の近いものや野菜・肉などの傷みやすいものを積極的に使う、もったいないクッキングデーとして取り組みが行われている。毎月30日と10日を家庭で意識し、市民運動につなげる事例を参考にしては。

答 家庭で気軽にできる食品ロス削減の取り組みの周知啓発を検討し、実施したいと考えている。

再発言 冷蔵庫など目立つ場所に張れるマグネット式のステッカーを作成し、配布する取り組みなどを要望する。

ヘルプカードの普及

問 同カードは、障害者手帳の有無にかかわらず、援助や配慮を必要とする方が所持・携帯しているが、周囲でヘルプマークを見た人が理解していないと意味がない。今後、周知の必要性があり、市のホームページからもダウンロードできるようにしてはどうか。

答 広報紙やホームページなどで周知を図り、ダウンロードもできるようにしていく。